

平成30年度 庄内自然博物館構想推進協議会 議事概要

日時：平成30年4月19日（木）10：00～12：00

場所：鶴岡市自然学習交流館ほとりあ

… 次第 …

1. 開 会

2. 挨拶

3. 協 議

- (1) 平成29年度事業実績について
- (2) 平成29年度収支決算について
- (3) 平成30年度事業計画（案）について
- (4) 平成30年度収支予算（案）について
- (5) 平成30年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制（案）について
- (6) ラムサール条約登録湿地10周年記念事業について
- (7) その他

4. その他

- (1) 高館山散策路について
- (2) 上池・下池の築堤安全点検調査の結果について
- (3) 旧加茂トンネルの通行について

5. 閉 会

◇◇◇ 議事概要（質疑応答） ◇◇◇

3. 協 議

(1) 平成29年度事業実績について

事務局より説明

…質疑なし、承認…

(2) 平成29年度収支決算について

事務局より説明

…質疑なし、承認…

(3) 平成30年度事業計画（案）について

事務局より説明

…質疑…

○外来生物排除区域の設定した効果をみるために、どのような調査を行い、データをとるつもりか。

事務局→調査については、水生植物調査と水生昆虫調査を考えている。
水生植物調査については、毎年行っている植生の委託調査で行ってもらい、水生昆虫は県外の専門家に助言をもらいながら、施設の方で行う予定である。

…承認…

(4) 平成30年度収支予算（案）について

事務局より説明

…質疑なし、承認…

(5) 平成30年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制（案）について

事務局より説明

…質疑…

○ワーキンググループは協議会の下に位置づけられている。サークルも同様に位置づけ、記載したほうがいいのではないか。

事務局→ワーキンググループは運営委員およびサポーターから組織され、法的な申請等が必要な活動を行う組織であるのに対し、サークルはサポーターに限らず地域住民等も参加可能である。事務局としては、協議会や運営委員会に諮らずに活動ができるように組織図からは外していた。サークルの取扱いについては、事務局内で検討する。

○基金事業会議を廃止するのは、即座に意思決定を行いたい考えからか。

事務局→その通りである。外部資金を取得申請する際のスリム化を図りたいため。

…承認…

(6) ラムサール条約登録湿地10周年記念事業について

…質疑…

○記念事業の実施主体は市とほとりあのどちらか。ラムサール条約は国際条約であるものの、市民に対する啓発や国際的な展望など事業の広がりが見えにくいと感じるところ、市の考えはいかがか。

またラムサール条約登録に際し、地元住民は経済的なメリットを考えている人もいるようだが、条約の骨子からは環境保全が第一義であると考えている。これらの両立や事業の広がりについて、市に何かアイデアはあるか。

事務局→施設名である「ほとりあ」が事業主体となることはない。市か協議会のどちらが主体となるかというご質問としてお受けする。

事務局→記念事業については、市と実行委員会の事業であり、実行委員会の中でいただいたご意見を元に内容を検討したい。記念事業は市民に対して周知し、広く知ってもらうことが重要であると考えており、その上でさらなる利活用や今後の進め方等については、ご意見を踏まえ検討したい。

○ラムサール条約に関心を持っている人が少ないように感じるため、例えば野鳥小屋の付近にも、ラムサール条約を説明する誰にでも分かりやすい掲示をしてはどうか。

○下池湖畔遊歩道には看板があるものの目につきにくく、見ている散策者は少ないのではないか。平成29年度から、広報大山でほとりあコーナーを設けて周知に励んできたところであり、市でも全市民に周知できるように働きかけを行ってほしい。

事務局→環境省やほとりあでも看板を掲示しているものの、実際に足を運んでもらわないと知ってもらえないというのも実態であり、市民への周知方法については、工夫していきたい。

事務局→ラムサール条約登録湿地が所在している自治体の関係者会議である「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議主管者会議」が11月1日～2日に鶴岡市で開催される。上池・下池を現地視察する予定であり、全国に向けてアピールする好機と考えている。関係者会議や現地視察について、委員の皆様には個別に相談させていただくこともあるがよろしくお願ひしたい。

…承認…

(7) その他

…なし…

4. その他

(1) 高館山散策路について

【庄内森林管理署 木村委員より説明】

○(木村委員) 森林管理署の体制について、昭和60年頃と比較すると大幅に職員数が減少しているものの、管理しなければならない面積は変わっていない状況である。そこで当署としては、管理する場所を減らしたいと考え、平成29年度の高館山自然休養林保護管理協議会総会で議題に挙げた。具体的には、配布資料(高館山遊歩道見直し計画)に示した黒色のコース[瀬ヶ沢コース、金沢コース、岩倉コースから内山コースを横切る道、八森山山頂への道]を縮小し、赤色のコース[内山コース、城山コースの一部]は直轄として管理する考え。

多くの人がマップを見て散策に来る中で、散策路の現状について分からずにトラブルになることが懸念される。管理を縮小するコースへの対応として、例えばコース入口に「悪路でありトラブルが起きた際は自己責任」であることを明記した看板を設置する等の対策が考えられる。

本件の一番の課題は、高館山協議会と当署との情報共有が不足していることではないかと思っており、今後の対応や進め方については、当協議会事務局と情報共有をしながら当協議会内で検討したいと考えている。また全国には多くのレクリエーションの森があり、管理運用の方法も多様である。

事務局→高館山に関し、鶴岡市には2つの協議会が存在する。高館山自然休養林保護管理協議会は高館山自然休養林の保護管理に協力することが目的であり、維持管理についてはこちらの協議会で扱うべき事案と考えている。庄内博物館構想推進協議会は高館山を構想エリアのひとつとして、周辺の自然に触れ、学び、楽しみ、活用することが主たる目的であり、高館山へは散策会や調査等のフィールドとして、必要に応じ入山許可や届出を提出し利用しているもの。

- 瀬ヶ沢コースは自然観察会等で頻繁に使うコースであり、これが廃道になると、巡回が難しくなると感じる。また、管理を放置されると山そのものの利用も制限される。八森山に続くコースも代替する道がないため、2つのコースは活かして欲しい。市としても経済的に力を入れて欲しい。
- コースを廃道にするということは、自然と歴史をブツ切りにするようなものであり、検討課題である。
- (木村委員) 管理の仕方として、最悪でも「立入れなくなる」ことはない。署としてマップへの掲載をしないで欲しいと考えている。今後、高館山協議会で議論したい。
- 単に廃道にしたいという事ではないと聞いて安心した。運営委員会では非常に強い要望や意見が出ているが、本協議会の下部組織である運営委員会から高館山協議会へ直接意見を言うのも越権行為ではないかとも思う。ぜひ関係機関調整会議などの仕組みを活用し、情報共有をさらに進めてもらいたい。また積極的に自然に親しもうという市民の皆さんの気持ち

をそぐことのないように、どうすればよいかを考えていただきたい。自己責任というのは重要なキーワードになるとも思う。なるべく早い機会に方向性を示して欲しい。

事務局→3～4月にかけて、ほとりあには散策路の通行状況や花の情報に関する問い合わせが多く寄せられているのが現状である。本構想や本施設にとって、高館山は関わりを持たずにはいられない場所でもある。施設として何かできることがあれば可能な範囲で対応したいと考えているところであり、検討の上、提案して欲しい。また、高館山の散策道には設置者や書体が異なる看板が乱立している。老朽化や記載している文言のズレ等もあり、看板の統一など検討してほしい。

(2) 上池・下池の築堤安全点検調査の結果について

【庄内総合支庁農村計画課 飯野計画調整主幹より説明】

○(飯野氏)平成29年度、ため池安全度調査事業(耐震点検)を実施した。結果、地震時の安定や液状化による堤体変形が懸念されるが、地震後瞬時に堤体が決壊する可能性は低い。また代掻き期以外は緊急放流で水位管理を行うことで、地震発生時も堤体の安定を確保できるものと思われる。

今後、対策工事が必要ではあるが、当面は水位管理や避難訓練等のソフト対策による対応を検討する。また上池・下池がラムサール条約登録湿地であること等から、事業計画は自然環境等に配慮した事前調整を行う。

3月下旬頃より、愛鳥館付近で下池堤体より漏水が確認されている。最大で毎分60程度の流出があったが、堤体100mあたり毎分600までがため池での漏水の許容量であり、専門家の意見も聞いたところ、心配する程の量ではないと考えている。念のため、今後一週間～10日に1度の頻度で現地確認を行う予定。

(3) 旧加茂トンネルの通行について

【高館山の歴史と文化を知る会より。事務局より説明】

○加茂坂古道を調査やイベントで歩く際、旧加茂トンネル内を通行できるとありがたい。

○小学校の総合学習で歩いた際、峠が不法投棄の温床となっていた。歴史ある重要な道であり、トンネルを市の文化財に指定するよう働きかけを行ってはどうか。

○現在、トンネルは鶴岡市土木課で管理し、通行止めになっている。通行できるようにすると即答できるものではないが、改めて検討の上、事務局を通して回答したい。

5. 閉 会

…閉会…

【事務局にいただいた質問等への回答および補足】

3（5）平成30年度庄内自然博物館構想推進協議会の体制(案)について

- ワーキンググループは協議会の下に位置づけられている。サークルも同様に位置づけ、記載したほうがいいのではないか。

事務局→ご要望を受け、組織図「ワーキンググループ」枠内に現行のサークルについて記載する整理としたい。

4（3）旧加茂トンネルの通行について

- 加茂坂古道を調査やイベントで歩く際、旧加茂トンネル内を通行できるとありがたい。

事務局→（市道管理者である鶴岡市土木課から、トンネル所有者である県担当課に確認中。）